

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
450004	XY1450004	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	1年
コンピュータソフトウェア	石川 洋					情報文化学部情報システム学科(25年度)	専門
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	1年
授業目的							
携帯端末やコンピュータで利用されているオペレーティングシステムには様々な種類があるが、それらの基本的な概念（資源管理、制御など）は共通している。この授業では、オペレーティングシステムが担うプロセス管理、メモリ管理、ファイル管理などの主要な機能とその役割について学ぶ。また、汎用言語プロセッサを広義のオペレーティングシステムの一部と捉えることで、言語処理系の基本についても学ぶ。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】授業の進め方、オペレーティングシステムの概要 【前・後】教科書の目次を眺めておく。教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 9 回 【授】仮想記憶管理 2 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 2 回 【授】プロセス管理 1 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 0 回 【授】仮想記憶管理 3（レポート課題 1） 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 3 回 【授】プロセス管理 2 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 1 回 【授】ファイルシステム 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 4 回 【授】プロセスの同期 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 2 回 【授】割り込み処理 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 5 回 【授】プロセス間通信 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 3 回 【授】情報システムの基盤としての Windows および Linux（レポート課題 2） 【前・後】配布資料を眺めておく。			
第 6 回 【授】実記憶管理 1 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 4 回 【授】言語処理プログラムの種類と構造 【前・後】配布資料を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 7 回 【授】実記憶管理 2 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 5 回 【授】言語処理プログラムにおける字句解析と構文解析（レポート課題 3） 【前・後】配布資料を読んでおく。講義資料を使って復習する。			
第 8 回 【授】仮想記憶管理 1 【前・後】教科書の該当部分を読んでおく。講義資料を使って復習する。				第 1 6 回 【授】定期試験			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
・成績は自己学習によるレポート課題（3回実施）と期末試験とにより評価する。							
・試験では講義に沿った問題を出題する。持ち込みは不可とする。							
教科書参考書							
第 1 回から第 1 2 回の内容 教科書 オペレーティングシステムの基礎 大久保英嗣、サイエンス社（1997） 1600 円＋税 第 1 3 回から第 1 5 回の内容 別途資料を配布							
受講に当たっての留意事項							
・専門用語が多く出てくるが、意味のわからない用語は必ず調べておくこと。							
・第 1 3 回、第 1 4 回、第 1 5 回の内容は、予定より早い時期に実施することがある（授業などで告知する）。							
・経営コースの学生で JABEE を希望する者は履修しなければならない。							
学習到達目標							
・オペレーティングシステムの基本を理解し、諸機能の役割を習得する（試験 60%、レポート 15%）。							
・具体的なオペレーティングシステムの利用動向を理解する（レポート 10%）。							
・コンパイラの仕組みを学習し、プログラミングを支える基本的な知識を習得する（試験 10%、レポート 5%）。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E、J							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習